

獣医事をめぐる情勢

農林水産省消費・安全局

畜水産安全管理課

平成28年4月

獣医師は、家畜やペットの診療、口蹄疫などの家畜伝染病の防疫、食品の安全など幅広い分野で活躍しています。

○ 獣医師として、約39,100人(平成26年) 分野別獣医師数の推移
が免許を保有。

(単位:人)

年	H18	20	22	24	26
産業動物診療	4,469	4,541	4,497	4,366	4,317
公務員	8,998	8,950	8,786	9,237	9,456
小動物診療	13,185	12,913	13,271	14,640	15,205
その他の分野	4,770	4,347	4,551	5,541	5,570
獣医事に従事しない者	4,396	4,277	4,274	4,509	4,550
合計	35,818	35,028	35,379	38,293	39,098

【農林水産省調べ】

① 産業動物診療分野:約4,300人(11%)
牛や鶏などの産業動物の診療に従事。

② 公務員分野:約9,500人(24%)
家畜伝染病の防疫、食品衛生監視などの行政に携わる獣医師。

③ 小動物診療分野:約15,200人(39%)
イヌ、ネコ等のペットの診療に従事。

④ その他の分野:約5,600人(14%)
大学の教員、医薬品の開発などに携わる獣医師。

⑤ 獣医師として活動しない者:約4,600人(12%)


農林水産分野

- 家畜の診療
- 家畜伝染病の防疫
(国内防疫・動物検疫)



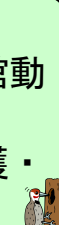
公衆衛生分野

- 食肉検査 (食肉等の安全の確保)
- 狂犬病等の予防
- 食品衛生監視・指導




野生動物分野

- 動物園・水族館動物の診療
- 野生動物の保護・管理




獣医師の
活動分野

小動物診療分野




バイオメディカル分野

- 動物用・人体用医薬品の開発




動物愛護・社会福祉分野

- 家庭動物や学校飼育動物の飼育指導



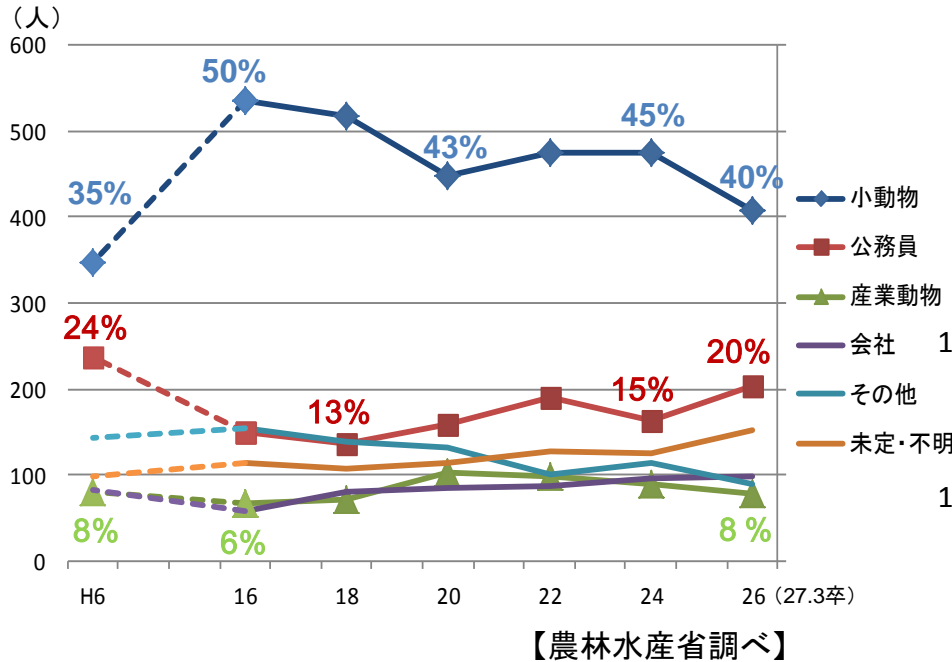
海外技術協力分野



獣医大学卒業生の進路は小動物診療が半数程度を占めてきましたが、近年は、公務員や産業動物診療分野で増加しています。

- 獣医大学の卒業生は、従来は約半数が小動物診療分野に就職する一方で、産業動物診療や公務員分野では減少傾向にあった。
- 近年は、景気動向も影響して、小動物診療分野で減少傾向が見られる一方で、公務員分野は増加傾向にある。

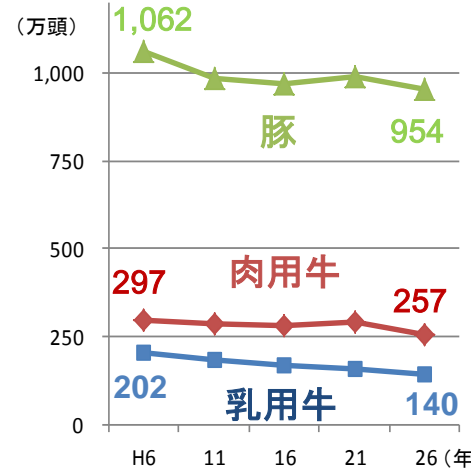
獣医大学卒業生の就職状況の推移



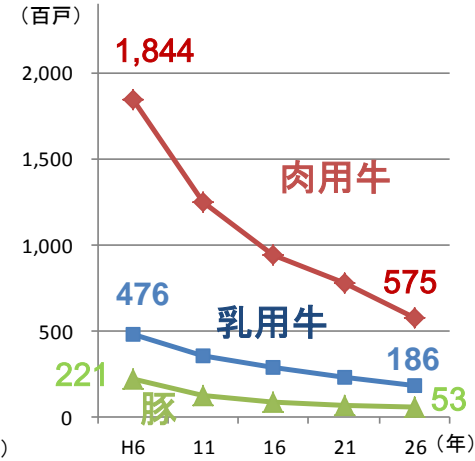
獣医師国家試験の実施結果（平成27年度）

- ①受験者数：1,299人（既卒者を含む）
- ②合格者数：1,024人（合格率78.8%）

家畜の飼養頭数(万頭)

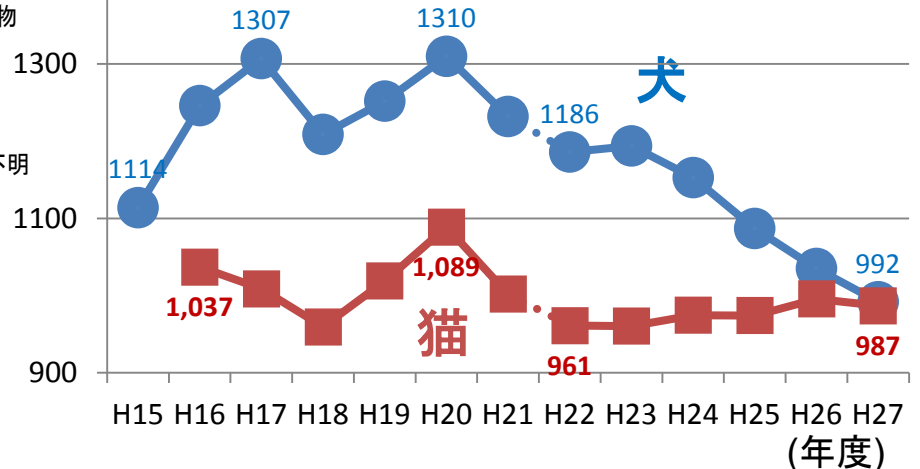


家畜の飼養戸数(百戸)



※各年2月1日【農林水産省調べ】

犬・猫の飼養頭数(万頭)



【ペットフード協会調べ】

農林水産大臣は、獣医療体制の整備のため、基本方針を策定しています。

安全で良質な畜産物を安定供給するためには、産業動物分野における獣医療提供体制の整備が必要です。

基本方針(農林水産大臣)

公表

(平成22年8月)

- 産業動物診療獣医師及び都道府県の公務員獣医師の確保
- 獣医師の技術の高位平準化
- 家畜伝染病に対する危機管理体制の強化 等

国

都道府県計画(都道府県知事)

公表・報告

基本方針に即して、具体的な目標を策定
(獣医師の確保に関する数値目標 等)

- ・ 都道府県における獣医療の実態把握
(家畜の飼養状況、獣医師数 等)
- ・ 飼育者のニーズ等の把握

都道府県

国、都道府県が連携し社会的ニーズに
応え得る獣医療提供体制を整備

産業動物獣医師の確保対策

獣医学生等の就業の誘導

- 1 獣医学生に対する臨床実習の実施
畜産地帯の獣医大学、農業共済診療施設等での臨床実習や都道府県の家畜保健衛生所等での行政実習を実施
- 2 高校生等及び獣医学生に対する修学資金の貸与
高校生等：獣医大学入学前に大学へ納付する費用(175万円)を上限として貸与
獣医学生：月額12万円を上限として貸与

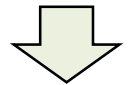
卒後研修による獣医師の定着化

- 1 新卒獣医師への初期臨床研修の実施
実践的な診断技術や臨床現場における基礎的知識の修得
- 2 中堅獣医師への臨床研修等の実施
農場管理技術や家畜伝染病の衛生管理技術の修得

ライフステージに応じた活躍の支援(平成27年度から実施)

- 1 学生への情報提供
将来の就業先について考える機会を提供するセミナーや職場体験を実施
- 2 女性獣医師等のスキルアップ
職場復帰・再就職に当たって、最新の知識の習得や獣医療の技術の向上を図るための研修を実施
- 3 雇用者の理解醸成
女性獣医師等の就業に対する理解醸成を促すための講習を実施

基本方針・都道府県計画
(獣医師の確保目標)



地域の実情に応じた
獣医療の提供
と産業動物
獣医師の確保

- 女性獣医師が生涯を通じて、能力を十分発揮できる環境作りが大切
- 獣医師の職域・地域偏在の解消に寄与し、地域の産業動物獣医師の確保にも貢献

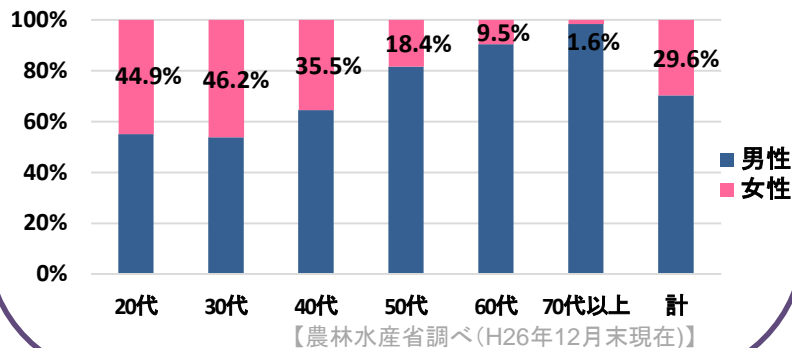
現状

働く女性獣医師は、20～30歳代で獣医師の約半数近く



獣医学生の約半数は女性であり、今後も女性獣医師が増加

獣医事に従事する獣医師の年代別男女比



課題

- 結婚や出産、子育てで離職する者
- 長期離職による技術力への不安等により、再就職をためらう者



女性獣医師の約6%が無職

年代別(20～50歳代)の獣医師数

	届出者総数		無職		
		うち女性		うち女性	うち男性
20代	3,638	1,659	163	100	63
30代	8,770	4,191	378	305	73
40代	8,439	3,132	196	179	17
50代	8,216	1,594	157	98	59
合計	29,063	10,576	894	682	212

【農林水産省調べ(H26年12月末現在)】

【日本再興戦略 - JAPAN is BACK-】

「職場復帰・再就職支援」、「女性役員・管理職の増加」等により、女性が輝く日本を作るための政策を実施